

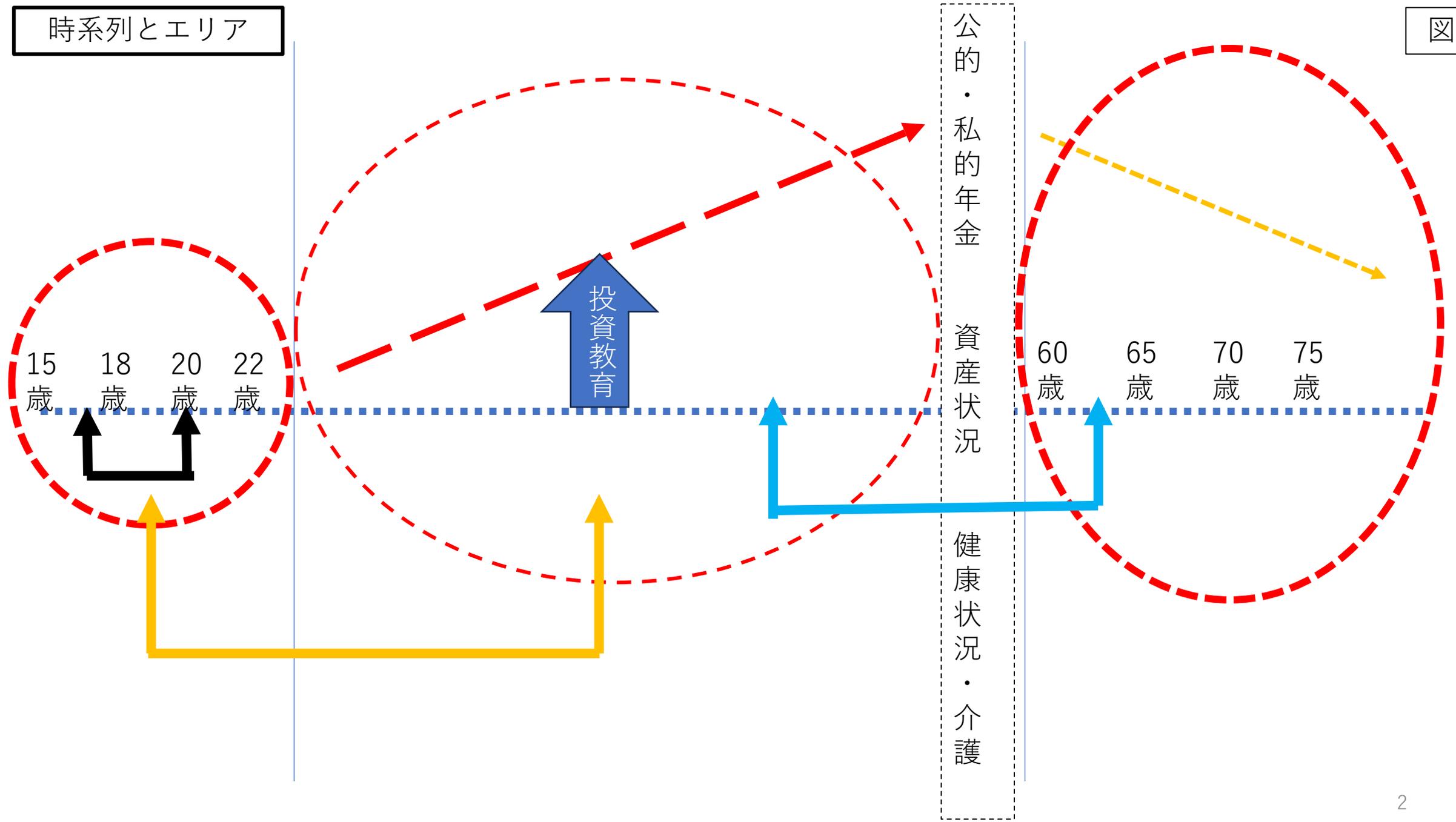
2つの「教育」を生涯を通じ効果的に進めていくため何が必要か

- 時系列で考える視点

- ⇒ 学校教育（高校⇔大学）⇔企業⇔「老後」の連携
 - ⇒ 学校・企業・老後の「現場」の声に傾聴

- 社会保障の「面」で考える、俯瞰する視点

- ⇒ 「大きな見取り図」の必要性
 - ⇒ 「年金」「老後資産形成」の位置づけを認識



		「年金教育」について			図2
		内容・目的	課題	対応	
連携・役割分担	高校	全体像をつかむ	教科書・資料集	?	
		言葉を知る	授業時間の配分、受験		
	大学	理解を深める	教員スタンスによる差異	共通教材の配布？	
		仕組み・理念・背景	人文系・理系学生への対応	(前) 社会人教育？	
社会人	実生活に活かす	企業のスタンスに差異	「人への投資」 人手不足対応 社会人向けショート動画		
	将来を考える	時間的余裕・機会が無い			
(老後)	老後の生活設計 資産の取り崩し	(定年退職が見えてから LPセミナー)	(DC継続教育で取り入れ)		

「大きな見取り図」の一例

図3

	公的制度・社会保険など	企業の制度等の勤務先の制度など	私的な準備
死亡	厚生年金保険、国民年金 * 遺族年金	死亡退職金、弔慰金	生命保険
長生き・老後生活	厚生年金保険、国民年金 * 老齢年金（終身）	退職一時金、企業年金制度、iDeCoプラス * 70歳までの高齢者雇用に関する努力義務	iDeCo（個人型確定拠出年金）、個人年金 積み立てNISA、預貯金、投資信託、株式・債券投資 * 労働による収入
医療	公的医療保険 <small>（健康保険組合、協会けんぽ、国民健康保険）</small> 厚生年金保険、国民年金 * 障害年金	勤務先の制度（傷病見舞金、休職制度など）	医療保険、傷害保険、金融資産
介護	介護保険（社会保険） 介護休業・介護休暇	（介護休業、介護休暇）その他、企業による上乗せ制度がある場合はその制度	介護保険（民間保険）、金融資産



「2つの教育」で目指すもの

- 年金を「自分ごと」とする
- 制度への信頼